

『臥龍梅』 蔵便り

平成二十六年葉月



しみず港まつりの花火

拝啓 うだるような暑さが続きいよいよ夏本番を思わせる今日この頃ですが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

さて、今月は8月3日(日)に開催された**臥龍梅を愉しむ会**についてご報告いたします。早いものでこの会も今年ではや5回目となります。今回の会場は第3回と同じく江東区清澄庭園内の大正記念館です。窓外に広がる日本庭園が都心にいることを忘れさせるような見事な眺めで、是非もう一度と言う声にお応えしたものです。10時半に会場に着きますと、真夏の空の下、庭園の緑が眩しいほど目に鮮やかでした。11時40分に受け付け開始の予定でしたが、炎天下で長らくお待たせするのは申し訳なく、30分からご入場いただきました。開宴予定の正午には会場は満席となり、小生の挨拶の後、臥龍梅応援団長の尾崎さんの発声で乾杯し大宴会の開幕となりました。各テーブルには純米吟醸の生酒を三種、山田錦、誉富士、超辛口の五百万石をご用意して飲み較べていただきました。秘蔵酒のブースには、純米大吟醸を四種、開墾十里香(愛山40%)の袋吊斗壘囲い、山田錦35%の袋吊斗壘囲い、備前雄町50%の袋吊乗酒、短稈渡船50%の無濾過原酒をご用意いたしました。これらは完売した商品ばかりで、この日のためにお取り置きしておいたものです。5回目ともなると皆様よくご承知で、まずブースで秘蔵酒の味を確かめてから席に戻り、お食事に移りながら純米吟醸酒をお召し上がりいただいたようです。そうこうして酔いがまわったところで、恒例の抽選会の開始です。甘酒(非売品)、特製の臥龍梅のロゴ入ポロシャツ、8/31開催の日本酒フェスティバルのペア招待券等、特別に豪華な景品をご用意いたしました。ここまでくると会場内は大盛況です。ところが愉しむ会はこれでお終いではありません。次は小生と抽選に外れた方全員との大ジャンケン大会です。最初はグーから始まって場内割れんばかりの歓声と熱気に包まれながらジャンケンが進行し、勝ち残った方には小生の着ていた裃纏までプレゼントいたしました。そして最後は、はるばる岩手から上京した菅原杜氏が南部杜氏歌をご披露して会を終了いたしました。閉会后、会場内を片付けてみると、用意したお酒は1本も残さず文字通りすっからかんでした。今回は応援団員の方のみへのご案内で入場券は売り切れとなりました。参加したい方は弊社のHPをご覧ください。<http://www.garyubai.com/>



さて、今月は猛暑の夏にうってつけ、すっきりした飲み口の**大吟醸 50 フラスコ壘**をお奨めいたします。清涼感あふれる壘形も魅力です。是非ともお試しください。

残暑の候、おからだには十分お気をつけられますよう。

平成26年8月吉日

敬具

鈴木 克昌